

平成24年度 定期作況報告

(8月20日)

(畑作の部 気象概況訂正後)

地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
中央農業試験場

水稻の部

水田農業G(岩見沢市)

I 気象概況

7月下旬:平均気温は平年より2.3℃高く、降水量はほとんどなく、日照時間は平年の136%であり、高温、少雨、多照に経過した。

8月上旬:平均気温は平年より1.6℃低く、降水量は平年の100%、日照時間は平年の79%であり、低温、寡照に経過した。

8月中旬:平均気温は平年より0.7℃高く、降水量は平年の319%、日照時間は平年の79%であり、多雨、寡照に経過した。

以上、1ヶ月を通じ平均気温は平年より0.5℃高く、降水量は平年の158%、日照時間は平年の98%であり、多雨に経過した。

7月下旬～8月中旬気象表

項目	7月下旬			8月上旬			8月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	28.0	25.1	2.9	25.6	27.3	△ 1.7	26.3	25.9	0.4	26.6	26.1	0.5
最低気温(℃)	18.8	17.1	1.7	17.8	19.1	△ 1.3	18.5	18.1	0.4	18.4	18.1	0.3
平均気温(℃)	22.9	20.6	2.3	21.1	22.7	△ 1.6	22.3	21.6	0.7	22.1	21.6	0.5
降水量(mm)	0.0	30.2	△ 30.2	44.5	44.4	0.1	145.0	45.5	99.5	189.5	120.1	69.4
日照時間(hr)	74.4	54.8	19.6	43.5	55.0	△ 11.5	40.8	51.5	△ 10.7	158.7	161.3	△ 2.6

注) データは「アメダス岩見沢」を使用。平年値は平成14～23年の10ヶ年平均値を農試が算出し、使用。

表中の気温は期間内の平均を示し、降水量と日照時間は期間内の積算値を示した。

II 作況

5月20日 平年並

事由:播種はほぼ平年並の4月19日に行った。播種日から3日間はやや低温に経過したため、出芽始めまでに日数を要したが、その後は平年を上回る気温および日照時間で経過し、播種後7日目に発芽揃となった。揃いは良好であった。4月下旬以降も高温に経過したため、苗の伸長は早かった。

移植時における苗は、茎数は「きらら397」が平年並、「ほしのゆめ」は0.2本少なく、葉数は「きらら397」、「ほしのゆめ」ともに3.1枚で、平年に比べ0.1枚少なかった。草丈はそれぞれ12.0cm、12.8cmで平年比121%、125%と大きく上回った。地上部乾物重はそれぞれ2.29g、2.64gで、平年比110%、122%であり、苗の充実度(地上部乾物重/草丈)はそれぞれ平年比90%、97%と、平年を下回った。すなわち、苗は平年に比べやや徒長気味ではあるものの、十分な生育量を確保している。

以上により、5月20日時点の作況は、平年並である。

6月20日 やや良

事由:移植はほぼ平年並の5月21日に行った。移植直後は高温、多照に経過したため、活着が平年に比べ良好であった。その後、6月上旬はやや高温に経過したことから、分けつの発生が早かった。6月20日における草丈は、平年対比で「きらら397」、「ほしのゆめ」がそれぞれ113%、118%で平年を上回り、主稈葉数は平年よりやや多かった。茎数もそれぞれ140%、123%と平年を上回った。

以上により、6月20日時点の作況は、やや良である。

7月20日 やや良

事由:6月下旬以降の気温はほぼ平年並に経過し、幼穂形成期は、平年対比で「きらら397」が2日、「ほしのゆめ」が3日いずれも早く、止葉始は両品種ともに1日早かった。7月20日における草丈は、平年対比で「きらら397」、「ほしのゆめ」がそれぞれ97%、101%と平年並であった。主稈葉数は平年をやや上回り、茎数も、それぞれ116%、113%と平年を上回った。

以上により、7月20日時点の作況は、やや良である。

8月20日 平年並

事由:7月下旬は高温に推移したため、出穂期は、平年対比で「きらら397」が3日、「ほしのゆめ」が4日いずれも早かった。稈長は、平年対比で「きらら397」、「ほしのゆめ」ともに97%とやや短く、穂長もそれぞれ98%、95%とやや短かった。一方、穂数は、平年対比で「きらら397」が109%、「ほしのゆめ」が105%と、平年を上回った。

以上により、8月20日時点の作況は、平年並である。

項目	品種名・ 苗種	きらら397 中苗			ほしのゆめ 中苗			ななつぼし 中苗(参考)		ゆめぴりか 中苗(参考)	
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年 (前6ヶ年)	本年 (前3ヶ年)		
播種期	(月.日)	4.19	4.18	1	4.19	4.18	1	4.19	4.18	4.19	4.18
移植期	(月.日)	5.21	5.20	1	5.21	5.21	0	5.21	5.21	5.21	5.20
幼穂形成期	(月.日)	7.05	7.07	△ 2	7.03	7.06	△ 3	7.03	7.04	7.03	7.05
止葉始	(月.日)	7.20	7.21	△ 1	7.18	7.19	△ 1	7.16	7.17	7.17	7.17
出穂期	(月.日)	8.01	8.04	△ 3	7.30	8.03	△ 4	7.30	8.01	7.30	7.31
成熟期	(月.日)		9.23			9.19			9.20		9.19
穂揃日数	(日)	5.0	5.8	-0.8	6.0	6.2	-0.2	6.0	6.3	6.0	6.7
出穂まで日数	(日)	104	108	△ 4	102	107	△ 5	102	105	102	104
生育日数	(日)		158			154			155		154
移植時地上部乾物重(g/100本)		2.29	2.09	0.20	2.64	2.17	0.47	2.53	2.13	2.60	2.05
草丈 (cm)	移植時	12.0	9.9	2.1	12.8	10.2	2.6	13.2	9.9	13.6	9.6
	6月20日	26.1	23.1	3.0	27.6	23.3	4.3	27.3	25.1	27.5	25.7
	7月20日	58.2	60.0	△ 1.8	62.6	62.2	0.4	63.6	66.9	62.4	70.3
茎数 (移植時:本/個体) (その他:本/m ²)	移植時	1.0	1.0	0.0	1.0	1.2	△ 0.2	1.0	1.0	1.0	1.0
	6月20日	400	285	115	368	299	69	333	308	338	316
	7月20日	935	803	132	945	835	110	840	794	910	807
主稈 葉数 (枚)	移植時	3.1	3.2	△ 0.1	3.1	3.2	△ 0.1	3.0	3.1	3.1	3.2
	6月20日	6.9	6.7	0.2	6.7	6.4	0.3	6.7	6.8	7.0	7.0
	7月20日	10.8	10.5	0.3	10.2	10.1	0.1	10.1	10.3	11.0	10.6
	止葉	11.0	11.0	0.0	10.2	10.4	△ 0.2	10.3	10.4	11.0	10.7
稈長	(cm)	63.6	65.8	△ 2.2	66.2	68.0	△ 1.8	68.2	69.1	65.8	69.5
穂長	(cm)	16.0	16.3	△ 0.3	14.8	15.6	△ 0.8	16.1	16.6	16.6	17.2
穂数	(本/m ²)	755	690	65	783	745	38	740	707	783	696
一穂粒数	(粒)		47.2			44.1			54.2		44.7
m ² 当粒数	(百粒)		326			329			383		311
稔実歩合	(%)		88.4			89.8			85.9		90.1
登熟歩合	(%)		79.1			80.4			78.9		82.5
籾摺歩合	(%)		75.8			71.2			76.3		76.2
屑米歩合	(%)		8.7			14.6			8.7		6.7
千粒重	(g)		23.1			22.0			21.7		22.7
わら重	(kg/a)		61.7			64.3			69.7		62.5
精籾重	(kg/a)		75.9			74.0			75.0		72.3
精玄米重	(kg/a)		57.5			52.7			57.2		55.1
収量平年対比	(%)		100			100			(100)		(100)
検査等級			2上	-		2上	-		2上		2上

注1)「きらら397」の平年値は前7ヶ年中、平成20年(最豊)、19年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2)「ほしのゆめ」の平年値は前7ヶ年中、平成17年(最豊)、19年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注3)平成18年より「ななつぼし」(中苗紙筒)の調査を開始した。

注4)平成21年より「ゆめぴりか」(中苗紙筒)の調査を開始した。

注5)耕種概要

土 壤 :細粒グライ土

施 肥 :高度化成472全層施肥 N-P₂O₅-K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a

播 種 量 :中苗紙筒=180cc/箱 栽植密度 :30×13.3cm 25株/m² 4本植え

移植方法 :手植え 反 復 :2

注6)刈り取り面積は一区3.6m²、精籾重、精玄米重は水分15%換算値を、篩目は1.9mmを使用した。

畑作の部

平成24年8月作況
(赤字下線が訂正部分)

作物G(長沼町)

I 気象概況

7月下旬:平均気温は平年より2.0℃高く、降水量は平年の0%、日照時間は平年の116%であり、高温、少雨、多照に経過した。

8月上旬:平均気温は平年より1.7℃低く、降水量は平年の59%、日照時間は平年の87%であり、低温、少雨、寡照に経過した。

8月中旬:平均気温は平年より0.3℃高く、降水量は平年の120%、日照時間は平年の69%であり、多雨、寡照に経過した。

以上、1ヶ月を通じ平均気温は平年より0.3℃高く、降水量は平年の63%、日照時間は平年の91%であり、少雨、寡照に経過した。

7月下旬～8月中旬気象表

項目	7月下旬			8月上旬			8月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	27.1	24.9	2.2	24.8	27.1	△2.3	26.0	25.8	0.2	26.0	25.9	0.1
最低気温(℃)	17.9	16.5	1.4	17.4	18.6	△1.2	17.8	17.5	0.3	17.7	17.5	0.2
平均気温(℃)	22.1	20.1	2.0	20.5	22.2	△1.7	21.5	21.2	0.3	21.4	21.1	0.3
降水量(mm)	0.0	36.4	△36.4	26.0	44.0	△18.0	53.0	44.1	8.9	79.0	124.5	△45.5
降水日数(日)	0.0	2.9	△2.9	4.0	2.8	1.2	4.0	3.6	0.4	8.0	9.3	△1.3
日照時間(hr)	<u>56.3</u>	48.4	<u>7.9</u>	<u>42.2</u>	48.5	<u>△6.3</u>	<u>31.0</u>	44.9	<u>△13.9</u>	<u>129.5</u>	141.8	<u>△12.3</u>

注1) 気象データはマメダス中央農試本場。欠測値および明らかな異常値はアメダス長沼で補正。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。中央農試で算出。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) △は減を示す。

1. 秋まき小麦(平成23年播種)

平成23年9月20日作況：平年並

事由：播種期は9月20日で平年より2～3日遅いが、安定した越冬のために必要な生育の確保には問題が無い播種時期である。

以上により、現在の作況は平年並である。

平成23年10月20日作況：やや不良

事由：播種期は平年より3日遅い9月20日であった。9月22日の台風による降雨に伴い土壌表面がクラスト化し、出芽期は平年より10日遅れとなった。出芽後、10月上旬は低温、多雨、寡照に推移したため生育が緩慢となり、10月20日現在で草丈、茎数は平年を下回っている。

以上により、現在の作況はやや不良である。

平成24年5月20日作況：やや不良

事由：出芽期は平年より10日遅く、その後の生育も緩慢で、越冬前の茎数は平年を大きく下回った。根雪終（融雪剤散布）は平年より16日遅い4月13日で、積雪期間は平年より23日長い139日であった。雪腐病による冬損程度は平年並であったが、越冬後の茎数は平年を大きく下回っていた。4月下旬から5月上旬は高温に推移したため順調に生育が進み、5月20日現在で草丈はほぼ平年並となったが、分けつの無効化もすすみ、茎数が平年を下回っている。

以上により、現在の作況はやや不良である。

平成24年6月20日作況：不良

事由：5月下旬から6月中旬までの降雨日数が少なく、やや干ばつ気味となった。出穂期は平年より2日早い6月5日であった。6月中旬以降、低温で推移したため6月20日現在のところ草丈は平年を下回り、茎数も少ない。

以上により、現在の作況は不良である。

平成24年7月20日作況：不良

事由：6月下旬以降、降水日数、降水量ともに平年より少なく、干ばつ傾向で推移した。成熟期は平年より1日早く、成熟期における穂長は平年並であるが、稈長が短く、穂数は少ない。

以上により、現在の作況は不良である。

平成24年8月20日作況：平年並

事由：成熟期における穂数は少なかったものの、子実の充実は良好であり、千粒重、容積重ともに平年を上回り、子実重は平年並となった。

以上により、現在の作況は平年並である。

項目	品種名 年次	ホクシン			きたほなみ(参考)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(H23.月.日)	9.20	9.17	3	9.20	9.18	2
出芽期	(H23.月.日)	10.02	9.22	10	10.03	9.25	8
出穂期	(H24.月.日)	6.05	6.07	△ 2	6.07	6.08	△ 1
成熟期	(H24.月.日)	7.17	7.18	△ 1	7.20	7.21	△ 1
冬損程度	(0:無~5:甚)	1.9	1.8	0.1	1.4	1.0	0.4
草丈 (cm)	H23.10.20	13.3	18.9	△ 5.6	11.9	18.0	△ 6.1
	H24.5.20	50.4	48.6	1.7	43.4	47.0	△ 3.6
	H24.6.20	95.9	102.2	△ 6.3	91.0	101.0	△ 10.0
茎数 (本/m ²)	H23.10.20	408	800	△ 393	315	643	△ 328
	越冬前(11月)	1146	1527	△ 381	814	1375	△ 561
	越冬後(4月)	1341	1867	△ 525	1161	2011	△ 850
	H24.5.20	994	1321	△ 327	1013	1545	△ 533
	H24.6.20	556	850	△ 293	545	873	△ 328
成熟期における	稈長 (cm)	86.0	93.2	△ 7.2	83.7	92.0	△ 8.3
	穂長 (cm)	8.8	8.3	0.5	9.2	8.0	1.2
	穂数(本/m ²)	553	769	△ 216	524	807	△ 283
倒伏程度	(0:無~5:甚)	0.0	1.1	△ 1.1	0.0	1.0	△ 1.0
子実重	(kg/10a)	628	601	26	741	769	△ 28
容積重	(g/l)	817	797	19	810	803	7
千粒重	(g)	41.1	38.4	2.7	41.9	38.0	3.9
品質	(等級)		2等		1等		
子実重	平年対比 (%)	104	100	4	96	100	△ 4

注1) 平年値:「ホクシン」は前7か年中、平成21年(最凶)、平成19年(最豊)を除く

5か年平均(収穫年度)。「きたほなみ」は前6か年の平均。

注2) △は平年より早、短、少を表す。

注3) 倒伏程度:成熟期における倒伏程度。

2. 春まき小麦

5月20日作況: やや良

事由: 融雪剤使用圃場の根雪終は平年より16日遅い4月13日であった。その後、圃場の乾燥は比較的進んだが、播種期は平年より4日遅い4月20日であった。播種後の気温が平年より高く推移し、適度な降雨があったため、出芽日数は短く、出芽期はほぼ平年並の4月29日となった。出芽後も気温は平年より高く推移し、生育が進んだ。5月中旬は低温で生育がやや緩慢となったものの、草丈および茎数は平年を上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

6月20日作況: 平年並

事由: 5月下旬から6月中旬までの平均気温、降水量ともにほぼ平年並であったが、降水日数は少なく、調査圃場がやや干ばつ気味となった。出穂期は平年より3日前後早く、草丈がほぼ平年並である。茎数は平年をやや下回っているが、分けつの無効化が進んだためと考えられる。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況: 平年並

事由: 出穂期は平年より3日前後早かった。6月下旬には開花期となり、6月下旬から7月中旬までの平均気温は平年並からやや高く推移したが、降水量および降水日数は平年を大きく下回り、調査圃場における赤かび病の発生が極めて少ない。稈長が平年を上回ったが、穂長および穂数が概ね平年並である。目下のところ倒伏は発生していない。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日作況: 良

事由: 7月下旬は高温少雨で推移し、成熟期は平年より1~2日早かったが、出穂期が平年より3日前後早かったため、登熟日数は平年より2日長かった。子実重は基幹品種の「春よ恋」で平年比125%程度と多収となった。穂数は概ね平年並であったが、千粒重が平年を上回るとともに、一穂粒数が平年より多いものと推察される。倒伏は認められなかった。収穫した子実について、リットル重が平年を上回り、赤かび粒および発芽粒は認められなかった。

以上により、現在の作況は良である。

項目 \ 年次	品種名	ハルユタカ			春よ恋			はるきり(参考)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.20	4.16	4	4.20	4.16	4	4.20	4.16	4
出芽期	(月.日)	4.29	4.30	△ 1	4.29	4.30	△ 1	4.30	4.30	0
出穂期	(月.日)	6.18	6.22	△ 4	6.18	6.21	△ 3	6.16	6.18	△ 2
成熟期	(月.日)	7.31	8.02	△ 2	7.30	7.31	△ 1	8.01	8.02	△ 1
草丈 (cm)	5月20日	25.3	19.4	5.9	25.1	19.7	5.4	28.0	22.1	5.9
	6月20日	77	78	△ 1	80	81	△ 1	79	81	△ 2
茎数 (本/m ²)	5月20日	757	488	269	905	554	351	847	583	264
	6月20日	670	732	△ 62	645	761	△ 116	723	690	33
7月20日	稈長 (cm)	91	87	4	101	94	7	97	93	4
または	穂長 (cm)	8.5	8.7	△ 0.2	8.4	8.6	△ 0.2	7.9	8.0	△ 0.1
成熟期の	穂数 (本/m ²)	477	472	5	544	518	26	543	515	28
子実重	(kg/10a)	518	417	101	622	499	123	618	477	141
千粒重	(g)	40.7	36.9	3.8	41.9	38.6	3.3	45.8	42.2	3.6
リットル重	(g)	813	789	24	818	801	17	810	801	9
品質	(等級)		2			2		2		
子実重平年対比	(%)	124	100	24	125	100	25	130	100	30

注) 平年値は前7カ年中、平成19年(最豊)、平成23年(最凶)を除く5カ年平均。「はるきり」は前5カ年平均。

リットル重は1リットル升による測定。

3. 大豆

6月20日 平年並

事由：播種期は平年並の5月22日であり、出芽期も平年並であった。現在のところ、各品種の主茎長と主茎節数は概ね平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日 やや不良

事由：開花期は「ツルムスメ」、「トヨムスメ」とともに平年並であった。6月下旬から7月上旬にかけて降水量が少なく、生育は停滞した。分枝数は平年並から多いものの、主茎長は短く主茎節数もやや少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

8月20日 やや不良

事由：開花期は「ユウヅル」、「スズマル」とともに概ね平年並であった。前節までの干ばつ傾向は解消されたが、前節同様に、分枝数は平年並から多いものの主茎長が短く、主茎節数もやや少なかった。着莢数は平年の82～89%と少なかった。

以上により、現在の作況はやや不良である。

項目	品種名	ツルムスメ			ユウヅル			トヨムスメ			スズマル		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月・日)	5.22	5.22	0	5.22	5.22	0	5.22	5.22	0	5.22	5.22	0
出芽期	(月・日)	6.03	6.03	0	6.03	6.03	0	6.03	6.03	0	6.03	6.03	0
開花期	(月・日)	7.19	7.18	1	7.28	7.28	0	7.15	7.16	△ 1	7.24	7.23	1
成熟期	(月・日)		9.29			10.14			9.25			9.28	
主茎長 (cm)	6月20日	9.1	9.8	△ 0.7	10.4	9.8	0.6	11.3	11.6	△ 0.3	8.6	8.2	0.4
	7月20日	42.4	49.6	△ 7.2	39.3	45.7	△ 6.4	43.4	52.0	△ 8.6	32.6	42.4	△ 9.8
	8月20日	52.7	57.4	△ 4.7	74.7	82.1	△ 7.4	50.5	60.3	△ 9.8	54.7	64.1	△ 9.4
	9月20日		56.9			80.8			60.0			64.6	
	成熟期		56.9			82.1			59.9			65.6	
主茎節数 (節)	6月20日	3.1	3.3	△ 0.2	3.1	3.2	△ 0.1	3.0	3.1	△ 0.1	3.1	3.4	△ 0.3
	7月20日	11.1	11.5	△ 0.4	10.7	11.4	△ 0.7	9.3	9.7	△ 0.4	11.1	11.7	△ 0.6
	8月20日	12.2	12.4	△ 0.2	14.7	15.6	△ 0.9	9.0	10.2	△ 1.2	13.7	14.1	△ 0.4
	9月20日		12.1			15.1			10.2			13.6	
	成熟期		12.2			15.7			10.1			13.9	
分枝数 (本/株)	7月20日	6.5	6.4	0.1	4.9	3.9	1.0	7.2	5.7	1.5	8.6	8.6	0.0
	8月20日	7.0	6.6	0.4	4.7	4.8	△ 0.1	7.7	6.3	1.4	11.1	10.7	0.4
	9月20日		6.4			4.5			6.1			10.3	
	成熟期		6.2			3.9			5.8			10.0	
着莢数 (莢/株)	8月20日	46.5	54.6	△ 8.1	40.3	45.3	△ 5.0	56.6	69.4	△ 12.8	125.8	143.9	△ 18.1
	9月20日		51.5			55.3			64.3			123.6	
	成熟期		51.1			52.4			63.4			122.7	
一莢内粒数		1.78			1.63			1.78			2.42		
子実重 (kg/10a)		337			325			369			329		
百粒重 (g)		46.4			47.4			39.8			14.5		
屑粒率 (%)		3.1			3.1			2.2			1.6		
品質 (等級)		3上			3下			3中			2中		
子実重平年対比 (%)		100			100			100			100		

注) 平年値は前7か年中、平成19年(最凶)、16年(最豊)を除く5か年平均。

4. 小豆

6月20日作況 平年並

事由：播種期は平年より1日早い5月24日であった。播種後、適度な降雨に恵まれたため出芽が良好であり、出芽期は平年より2日早い6月9日であった。出芽期後の6月中旬が低温に経過し、現在のところ主茎長、主茎節数ともに平年を下回っているが、問題となる遅れではない。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況 やや不良

事由：6月下旬以降、少雨に経過し、生育が停滞したため、現在のところ主茎長、主茎節数、分枝数ともに平年を下回っている。

以上により、現在の作況はやや不良である。

8月20日作況：やや良

事由：開花期は平年より1日遅い7月24日であった。開花期後の気温は7月下旬が平年より高く、8月上旬は低く推移したが、開花や着莢の障害は認められず、8月に入ってから適度な降雨にも恵まれたため、順調に着莢が進んだ。現在のところ、主茎長と分枝数は前節と同じく平年を下回っているが、主茎節数が平年よりやや多く、着莢数は多い。

以上により、現在の作況はやや良である。

品種名 項目 \ 年次		エリモショウズ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.24	5.25	△ 1
出芽期	(月.日)	6.09	6.11	△ 2
開花期	(月.日)	7.24	7.23	1
成熟期	(月.日)		9.04	
主茎長 (cm)	6月20日	3.3	3.8	△ 0.5
	7月20日	19.1	23.9	△ 4.8
	8月20日	57.7	67.2	△ 9.5
	成熟期		66.9	
主茎節数 (節)	6月20日	1.2	1.5	△ 0.3
	7月20日	8.2	9.3	△ 1.1
	8月20日	14.1	13.4	0.7
	成熟期		13.5	
分枝数 (本/株)	7月20日	3.7	4.3	△ 0.6
	8月20日	4.3	4.7	△ 0.4
	成熟期		4.5	
着莢数 (莢/株)	8月20日 成熟期	65.3	55.2 52.5	10.1
一莢内粒数			5.61	
子実重	(kg/10a)		289	
百粒重	(g)		12.6	
屑粒率	(%)		2.9	
品質	(等級)		3下	
子実重平年対比	(%)		100	

注1) 平年値は前7カ年中、平成20年(最豊)、平成18年(最凶)を除く5カ年平均。

注2) 子実重および百粒重は子実水分15%に補正後の数値。

5. ばれいしょ

5月20日作況：平年並

事由：本年の根雪終は平年より14日遅い4月16日（融雪剤無散布）であったが、4月中旬以降少雨に推移して圃場の乾燥が進んだため、植付期は平年より1日遅い5月1日であった。5月上旬は高温・多雨に推移し、萌芽期は平年より7日早い5月18日であった。

以上により、現在の作況は平年並である。

6月20日作況：平年並

事由：6月中旬以降、低温で推移したものの、開花始は平年より4日早い6月19日であった。6月20日現在のところ茎長はほぼ平年並、茎数はやや多い。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：やや不良

事由：6月下旬以降、降水日数、降水量ともに平年より少なく干ばつ傾向で推移した。7月20日現在で茎数はやや多いが、茎長が平年より短い。目立った病害虫の発生は認められないが、7月2半旬より茎葉の黄化が始まっており、早期枯凋による塊茎肥大期間の短縮が懸念される。

以上により、現在の作況はやや不良である。

8月20日作況：不良

事由：6月下旬以降、干ばつ傾向で推移したため、塊茎の肥大が進まないまま枯凋が始まり、枯凋期は平年より11日早い8月14日であった。上いも数は平年並であったが、上いも平均一個重、上いも重、中以上いも重は平年を大きく下回った。でん粉価は平年より高かった。

項目	品種名 年次	男爵薯		
		本年	平年	比較
植付期	(月.日)	5.01	4.30	1
萌芽期	(月.日)	5.18	5.25	△ 7
開花始	(月.日)	6.19	6.23	△ 4
枯凋期	(月.日)	8.14	8.25	△ 11
茎長	6月20日	32.4	32.7	△ 0.3
(cm)	7月20日	35.9	48.8	△ 12.9
茎数	6月20日	5.8	4.5	1.3
(本/株)	7月20日	5.2	4.4	0.8
8月20日における				
上いも数	(個/株)	-	12.3	-
上いも平均一個重(g)		-	89	-
上いも重	(kg/10a)	-	4793	-
でん粉価	(%)	-	14.6	-
枯凋期における				
上いも数	(個/株)	13.1	12.5	0.6
上いも平均一個重(g)		74.3	88.5	△ 14.2
上いも重	(kg/10a)	4340	4904	△ 564
中以上いも重(kg/10a)		3297	4130	△ 834
でん粉価	(%)	16.4	14.3	2.1
上いも重平年対比 (%)		89	100	△ 11
中以上いも重 " (%)		80	100	△ 20
でん粉価 " (%)		115	100	15

注) 平年値は前7か年中、平成18年(最凶)、19年(最豊)を除く5か年平均。

「上いも」は21g/個以上、「中以上いも」は61g/個以上。

本年は枯凋期が8月20日以前だったため、8月20日の調査は省略した。